

令和8年（2026年）知事年頭所感

大阪府知事 吉村 洋文



新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

公益社団法人大阪府栄養士会会員の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。また、貴会におかれましては、日頃から、「食」を通じた府民の健康づくりにご尽力いただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

昨年は、皆様のご支援・ご協力を得て、大阪・関西万博を成功裏に開催することができました。国内外の2,900万人を超える来場者が「いのち輝く未来社会」を体感し、会場では連日、子どもたちをはじめ多くの皆様の笑顔と感動があふれました。

貴会におかれましては、8月3日から9日までの7日間にわたり、大阪ヘルスケアパビリオンにおいて「未来の栄養・食のデモンストレーション」として、「管理栄養士・栄養士と一緒に考える、栄養と食の未来」と題し、協賛企業との出展や、全国の各都道府県の郷土料理と未来の食材をかけ合わせた「未来に残すべき和食」を考案・展示されました。また、屋外のリボーンステージでは、アジア12か国の栄養士会が参加する「アジア栄養士フォーラム2025」を開催されるなど、参加者の皆様に「栄養と食の未来」について深く考える機会を提供いただき、藤原会長をはじめ、会員の皆様に深く感謝申し上げます。

本府におきましても、大阪・関西万博を契機に、府民の健康寿命の延伸をめざし、新たな食

文化の提案として、従来のヘルシーメニューであるV.O.S.メニューに大阪の伝統的な食文化を継承しつつ、大阪産（もん）という新たな要素を加えた「おおさか EXPO ヘルシーメニュー」の普及を推進してきました。この間、関西にゆかりがある著名人にメニューを考案いただいたほか、大学生や専門学校生を対象としたヘルシーメニューコンテストの開催や府内の教育機関や民間企業の協力により、多くのメニューを開発いただき、万博会場において、実演・試食という形で披露することで、レガシー化への基礎を築いてまいりました。

今後も万博の開催地・大阪として、万博の成果も活かしつつ、「全ての府民が健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現～いのち輝く健康未来都市・大阪の実現～」に向けて、「食を通じた健康づくり」と「食を通じた豊かな心の育成」、「自然に健康になれる持続可能な食環境づくり」を目標に、取組みをより一層推進してまいります。

本年も、大阪府栄養士会会員の皆様のより一層のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げますとともに、貴会の益々のご発展と、本年が皆様にとって素晴らしい年となりますようお祈りいたします。